

令和 2 年度

由利本莊市財政援助団体等監査報告書

由利本莊市監査委員

由本監査第26号
令和2年9月10日

由利本荘市長 長谷部 誠 様
由利本荘市議会議長 三浦 秀雄 様

由利本荘市監査委員 鈴木 祐悦

由利本荘市監査委員 高橋 真理子

由利本荘市監査委員 渡部 聖一

財政援助団体等監査報告書の提出について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、令和2年度財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により報告書を提出する。

目 次

1 監査の期間	1
2 監査の対象	1
3 監査の方法	1
4 監査の着眼点	1
5 監査の結果	2

監査実施団体

(1) 財政援助団体

◎ 北限の竹を徹底活用志隊	3
◎ 岩魚愛好会	4
◎ 農事組合法人 Luana	5

(2) 公の施設の指定管理者

◎ 株式会社 西目町卸流通センター	6
◎ ミズノグループ	7

(3) 出資団体

◎ 株式会社 岩城	8
◎ 株式会社 黄桜の里	10

令和2年度財政援助団体等監査報告

1 監査の期間

令和2年6月5日 ～ 令和2年7月17日

2 監査の対象

(1) 財政援助団体

令和元年度歳出科目中、19節「負担金補助及び交付金」から補助金等として交付された、次に掲げる財政援助団体を抽出して監査を実施した。

補助団体名	補助金名	所管課
北限の竹を徹底活用志隊	由利本荘市地域づくり推進事業補助金	由利総合支所 市民サービス課
岩魚愛好会	由利本荘市地域づくり推進事業補助金	鳥海総合支所 市民サービス課
農事組合法人 Luana	秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業費補助金	農林水産部農業振興課

(2) 公の施設の指定管理者

令和元年度歳出科目中、13節「委託料」から指定管理料として支出された、次に掲げる施設の指定管理者を抽出して監査を実施した。

指定管理者	施設名	所管課
株式会社 西目町卸流通センター	由利本荘市西目ふるさと交流センター 「かしわ温泉」	商工観光部観光振興課 西目総合支所産業課
ミズノグループ	由利本荘総合防災公園	教育委員会事務局スポーツ課

(3) 出資団体

由利本荘市が資本金等の四分の一以上を出資している第三セクターの法人から、次に掲げる団体を抽出して監査を実施した。

団体名	設立年月	資本金 (うち市の出資金)	所管課
株式会社 岩城	平成26年4月	2,201株/100,000千円 (1,706株/85,300千円)	商工観光部観光振興課 農林水産部農業振興課 岩城総合支所産業課
株式会社 黄桜の里	平成7年5月	3,200株/96,000千円 (3,000株/90,000千円)	商工観光部観光振興課 東由利総合支所産業課

3 監査の方法

監査にあたっては、所管課から提出された令和元年度分の補助金等交付団体調査書及び指定管理団体調査書、加えて第三セクター一覧表に基づき実施している。補助金等については、交付団体名、補助の目的、支出科目、補助金交付額、交付年月日等を調査した。指定管理については、施設名、指定管理者、指定管理料、指定期間等を調査した。第三セクターについては、設立年月、資本金のうち市の出資金及び出資割合、主な事業内容等を調査した。その中から補助金等3団体、指定管理者2団体、出資団体2社を抽出し、事前に所管課及び団体から提出された関係書類の審査を行い、監査執行当日において、担当職員並びに関係者からの説明を聴取し、団体から提示された出納関係帳簿及び預金通帳、証書類等を審査し、事務・事業が適正かつ効果的に執行されたかなどについて監査を行った。

4 監査の着眼点

(1) 財政援助団体

- 補助金等交付申請書の申請時期及び審査に不備な点はないか。
- 補助金等の金額及び補助方法が適正か、かつ、決定は法令等に適合しているか。
- 補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告書等によりなされているか。
- 補助金等交付団体への指導監督は、適切に行われているか。
- 団体の事業計画書、予算書及び決算諸表等と提出された交付申請書、実績報告書は符合するか。
- 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。

- 補助対象事業が、計画及び交付目的に沿って実施され、十分な効果が上げられているか。また、補助金等が補助対象事業以外に流用されていないか。
- 補助金等に係る収支会計経理が、適正に行われているか。
- 補助対象事業の関係帳簿及び領収書等の証拠書類の整備、保存が適正に行われているか。
- (2) 公の施設の指定管理者
- 指定管理者の指定の手続きは、条例等に基づき適正・公正に行われているか。
- 協定書等には、管理する施設及び業務の内容や、経費の負担区分等必要事項が明確に記載されているか。
- 管理に関する経費の算定、支出の方法、時期、手続き等は適正に行われているか。
- 事業報告書の点検や指導監督が適切になされているか。
- 所管部局は、指定管理者に対して適時かつ適切に報告を求め、調査し、又は指示を行っているか。
- 施設の管理は、条例等に基づき適正かつ効率的に行われているか。
- 協定書等に基づく義務の履行は適切に行われているか。
- 利用料金の設定等は適正になされているか。また、収納は正確に行われているか。
- 施設の管理に係る収支会計経理は適正に行われているか。また、他の事業との会計区分は明確になっているか。
- 施設の管理に係る出納関係帳簿領収書等の証拠書類の整備、保存が適正に行われているか。
- (3) 出資団体
- 株式又は出資による権利は、財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。
- 定款並びに経理規程等諸規程は整備されているか。
- 設立目的（出資目的）に沿った事業運営が行われているか。
- 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。また、事業成績、財政状況は適正に決算諸表等に表示されているか。
- 経営成績及び財政状態は良好か。
- 関係帳票の整備、記帳、領収書等の証拠書類の整備、保存が適正に行われているか。
- 会計経理及び財産管理、資金の運用は適切か。また経費節減は図られているか。

5 監査の結果

監査を実施した全ての団体において、事務は概ね適正に処理されていると認められたが、一部改善を要する事項が見受けられた。なお、軽微な事項については、監査に立ち会った関係者に注意を促すとともに、所管課へ改善、検討するよう口頭で指導を行ったので、記述を省略する。

財政援助団体については、補助金等が交付目的に沿って公正かつ効率的に使用されるよう、補助金等の適正に関する条例及び規則を遵守し、交付要綱の趣旨に沿って事業が適切に実施されたかに主眼をおいて監査した。補助金等の申請・交付決定においては、対象事業が補助金交付要綱の目的に合致した内容で、その目的達成のために必要な事項が盛り込まれているかが第一義であり、申請時における団体の規約や活動内容等の確認と、交付決定時における事業計画の厳正な審査が重要であることを再認識していただきたい。さらに、実績報告書の検査においては、収支決算書を確認するだけでなく、収支に係る帳簿類の提示を求めて試査を行うなど、補助金の使途の適正性・透明性の確保に務めていただきたい。事業費が補助対象経費に該当するか否かの判断や、事業計画に変更が生じた場合の変更申請の基準を明確化し、補助金交付団体がスムーズに申請・報告を行えるよう、所管課においては、補助金交付要綱の見直しを行うなど、時代に合った適切な是正措置を講じられたい。

公の施設の指定管理者については、団体が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図ることで、施設の設置の目的を効果的に達成できるような運営や事業展開をされたい。所管課においては、人員配置計画・事業計画・事業報告・収支報告の内容等を十分審査した上で適切な指定管理料の算定を行い、効率的な管理運営となるよう指導されたい。特に、指定管理施設事業報告書の審査が形式的なものに留まることのないよう審査の重要性を再認識し、事業内容はもちろんのこと、施設運営が計画通り行われているか適正に審査されるよう望むものである。

出資団体については、地域人口の減少など大変厳しい経営環境の下で、創意工夫しながらの営業努力が感じられた。新型コロナウイルスの流行により経営の著しい改善は難しい状況にあるが、引き続き市場ニーズを捉え、経営力の向上と収益の増加に努められたい。本庁及び総合支所の所管課は引き続き出資団体の経営状況を的確に把握し、緊密な連携を図るとともに、適切な指導監督を行うよう望むものである。

最後に、各制度の趣旨に沿った適切な指導が行われ、より効率的な事務の執行に努めるとともに、事業の目的が達成され、もって市民の福祉の増進に寄与されるよう望むものである。

(1) 財政援助団体

【団体名：北限の竹を徹底活用志隊】

- 1 補助金名 由利本荘市地域づくり推進事業補助金（一般地域づくり推進事業）
- 2 補助率 補助対象経費の4分の3以内に相当する額。次の各号のいずれかに該当する事業は、補助対象経費の10分の9以内に相当する額。ただし、50万円を限度とする。
ア. 研修事業又は健康福祉に関する事業のうち、講演会又は講習会事業
イ. 環境整備事業のうち、花・樹木の植栽事業
- 3 交付額 425,000円
- 4 交付年月日 令和元年 5月15日（1回目）
令和元年12月27日（2回目）
- 5 交付目的 地域における文化・交流事業、観光事業、協働のまちづくり事業及び特色ある事業に対し、その経費の一部を補助することにより、地域の活力増進と連帯感の創出を図り、地域の活性化に資することを目的とする。
- 6 支出済額に占める市補助金の割合 事業費に占める割合 48.2%
補助対象額に占める割合 75.0%
- 7 事業実績

(1) 事業概要

由利本荘市に自生する孟宗竹など竹や筍の利活用を学ぶ講習会や、交流会事業である「流しそうめん祭り」を開催し、地域の絆の強化と活性化を図る。

開催日 令和元年5月13日、20日、27日、8月2日、3日、4日

(2) 令和元年度収支決算

〈収入〉

(単位：円)

区分	計画額	決算額	比較増減	備考
補助金	425,000	425,000	0	由利本荘市より
自主財源	62,700	62,700	0	協力金、出店料
事業主負担	393,162	393,162	0	
計	880,862	880,862	0	

〈支出〉

(単位：円)

区分	計画額	決算額	比較増減	備考	補助対象額
報償費	124,000	124,000	0	各種講習会指導料	124,000
人件費	300,000	300,000	0		0
燃料費	36,512	36,512	0		36,512
消耗品費	61,033	61,033	0	竹テント、流しそうめん準備品	61,033
消耗品費 (提供品)	28,068	28,068	0	漬物、流しそうめん	14,034
印刷製本費	58,150	58,150	0	コピー、チラシ、ポスター、写真代	58,150
委託料	100,000	100,000	0	竹調達	100,000
保険料	2,190	2,190	0		2,190
郵便料	9,819	9,819	0	はがき、切手	9,819
広告料	30,240	30,240	0	広告掲載料	30,240
使用料・賃借料	130,850	130,850	0	会場使用料、軽トラ、工具等借上料	130,850
計	880,862	880,862	0		566,828

*収支差引残金0円

8 監査の結果

- ・概ね適正に処理されていると認められた。
- ・団体においては、補助金の出納が明確になるよう通帳や出納簿を整備されたい。所管課においては、団体に適切な指導・助言を行うよう改善を図られたい。

【団体名：岩魚愛好会】

- 1 補助金名 由利本荘市地域づくり推進事業補助金（一般地域づくり推進事業）
- 2 補助率 補助対象経費の4分の3以内に相当する額。次の各号のいずれかに該当する事業は、補助対象経費の10分の9以内に相当する額。ただし、50万円を限度とする。
ア．研修事業又は健康福祉に関する事業のうち、講演会又は講習会事業
イ．環境整備事業のうち、花・樹木の植栽事業
- 3 交付額 360,000円
- 4 交付年月日 令和元年 5月31日（1回目）
令和元年12月26日（2回目）
- 5 交付目的 地域における文化・交流事業、観光事業、協働のまちづくり事業及び特色ある事業に対し、その経費の一部を補助することにより、地域の活力増進と連帯感の創出を図り、地域の活性化に資することを目的とする。
- 6 支出済額に占める市補助金の割合 事業費に占める割合 53.4%
補助対象額に占める割合 60.9%

7 事業実績

(1) 事業概要

岩魚のつかみ取り体験及びキノコの収穫体験から自然への恩恵を感じつつ地域の活性化を図ることを目的とする。

開催日 令和元年5月19日、6月8日、7月7日、8月3日、9月8日、10月19日

(2) 令和元年度収支決算

〈収入〉

(単位：円)

区	分	計	画	額	決	算	額	比	較	増	減	備	考
補	助	金	360,000	360,000	0	由利本荘市より							
事	業	主	負	担	320,000	314,348	5,652						
計			680,000	674,348	5,652								

〈支出〉

(単位：円)

区	分	計	画	額	決	算	額	比	較	増	減	備	考	補助対象額
燃	料	費	10,000	7,440	2,560	軽トラック燃料								7,440
消	耗	品	費	300,000	204,353	95,647	キノコ菌、ホダ木ほか							204,353
消	耗	品	費	(提供品)	0	103,588	△ 103,588	岩魚						51,794
広	告	料	120,000	0	120,000									0
使	用	料	・	賃	借	料	100,000	117,480	△ 17,480	養殖場、栽培場、軽トラック				117,480
原	材	料	費	150,000	160,487	△ 10,487	杭、鹿沼土ほか							160,487
備	品	購	入	費	0	81,000	△ 81,000	前掛け						50,000
計			680,000	674,348	5,652									591,554

*収支差引残金0円

8 監査の結果

- 概ね適正に処理されていると認められた。
- 燃料費について、ガソリンスタンドの領収書が証拠書類として提出されているが、事業実施のために使用した分を証明する書類（運行記録等）の提出を求めるなど改善を図りたい。

【団体名：農事組合法人 Luana】

- 1 補助金名 秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業費補助金
- 2 補助率 市補助金及び県補助金を合わせた額とし、予算の範囲内で市長が定める。
市補助金は、別表に定めるとおりとし、千円未満の端数は切り捨てるものとする。
(別表より) 大規模しいたけ団地育成事業 市1/4以内
- 3 交付額 90,004,000円
- 4 交付年月日 令和 2年 3月27日
- 5 交付目的 周年農業の拡大や地域の雇用を創出する上で重要な菌床しいたけの一層の生産拡大と全国トップブランド化を図るため、生産関連施設等の整備に要する経費を助成する。
- 6 支出済額に占める市補助金の割合 事業費に占める割合 59.1%
補助対象額に占める割合 65.0%

7 事業実績

(1) 事業概要

J A秋田しんせい管内では、廃校を活用したしいたけの生産団地の整備を進め、生産量の増加による所得の向上や周年栽培による雇用創出など生産振興を図っている。安定的な生産基盤を確保するとともに、生産拡大を図るため生産施設を整備するものである。

(2) 令和元年度収支決算

〈収入〉

(単位：円)

区分	計画額	決算額	比較増減	備考
補助金	90,004,000	90,004,000	0	
事業主負担	62,311,900	62,311,900	0	
計	152,315,900	152,315,900	0	

〈支出〉

(単位：円)

区分	計画額	決算額	比較増減	備考	補助対象額
発生用建物	138,469,000	138,469,000	0	パイプハウス6棟	138,469,000
栽培棚				6棟分	
空調設備				6棟分	
散水機				2台	
給排水設備				一式	
電気設備				一式	
消費税	13,846,900	13,846,900	0		0
計	152,315,900	152,315,900	0		138,469,000

*収支差引残金0円

8 監査の結果

- ・概ね適正に処理されていると認められた。

(2) 公の施設の指定管理者

【指定管理者：株式会社 西目町卸流通センター】

- 1 施設名 由利本荘市西目ふるさと交流センター「かしわ温泉」
- 2 施設の位置 由利本荘市西目町西目字釜ヶ沢96番地5
- 3 根拠条例 由利本荘市西目ふるさと交流センター「かしわ温泉」条例
- 4 指定管理料 21,560,000円（消費税及び地方消費税込み）
- 5 支払年月日 平成31年 4月26日 10,584,000円／令和元年10月31日 10,976,000円
- 6 管理に関する協定等
 - (1) 選 定 区 分 公募
 - (2) 基本協定締結年月日 平成31年 2月25日
 - (3) 指定管理期間 平成31年 4月 1日 から 令和 5年 3月31日
 - (4) 年度協定締結年月日 平成31年 4月 1日
- 7 業務内容
 - ・施設の運営に関すること
 - ・施設の維持管理に関すること
 - ・その他
- 8 利用状況 入湯者55,108人、交流室利用者4,313人、研修室230時間、和室1,430時間
- 9 令和元年度収支状況

〈収入〉

(単位：円)

区	分計	画 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
入浴料収入	13,829,000		13,322,750	△ 506,250	
室料	1,700,000		1,373,700	△ 326,300	交流室、研修室、和室
食事	6,400,000		5,663,770	△ 736,230	
売店	4,700,000		3,821,379	△ 878,621	
その他収入	650,000		503,665	△ 146,335	
委託金収入	21,168,000		21,560,000	392,000	由利本荘市より
計	48,447,000		46,245,264	△ 2,201,736	

〈支出〉

(単位：円)

区	分計	画 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
人件費	15,798,000		14,875,102	△ 922,898	
イベント費	250,000		191,389	△ 58,611	
旅費	65,000		31,200	△ 33,800	
交際費	250,000		243,350	△ 6,650	
需用費	23,632,000		21,176,316	△ 2,455,684	燃料費、光熱水費、食堂・売店仕入代等
役員費	290,000		308,743	18,743	通信運搬費、広告料、保険料
委託料	2,452,000		2,468,271	16,271	施設管理委託料、警備保障委託料
使用料・賃借料	3,605,000		3,669,158	64,158	下水道使用料、テレビ受信料等
備品購入費	300,000		194,425	△ 105,575	
負担金	5,000		5,000	0	
租税公課	1,280,000		1,302,921	22,921	消費税等
その他収入	468,000		1,409,110	941,110	雑費、会議費
計	48,395,000		45,874,985	△ 2,520,015	

〈収支〉

(単位：円)

区	分計	画 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
収支差引額	52,000		370,279	318,279	

10 監査の結果

- ・概ね適正に処理されていると認められた。

【指定管理者：ミズノグループ】

- 1 施設名 由利本荘総合防災公園
- 2 施設の位置 由利本荘市石脇字田尻野地内
- 3 根拠条例 由利本荘市都市公園条例
- 4 指定管理料 114,658,790円（消費税及び地方消費税込み）
- 5 支払年月日 平成31年 4月26日 32,650,000円／令和元年 7月31日 32,600,000円
令和元年10月31日 32,600,000円／令和 2年 1月31日 35,015,740円
令和 2年 5月25日 △18,206,950円（水光熱費余剰金戻入）
- 6 管理に関する協定等
 - (1) 選 定 区 分 公募
 - (2) 基本協定締結年月日 平成30年 1月31日
 - (3) 指定管理期間 平成30年 7月 1日 から 令和 5年 3月31日
 - (4) 年度協定締結年月日 平成31年 3月26日
- 7 業務内容 ・施設の運営に関すること
・施設の維持管理に関すること
・その他
- 8 利用状況 ナイスアリーナ利用者数 164,298人
- 9 令和元年度収支状況

（収入） （単位：円）

区分	計 画 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
指定管理料	130,450,000	117,257,519	△ 13,192,481	新型コロナ感染拡大予防に係る損失補てんを含む
利用料金収入	30,620,000	23,567,639	△ 7,052,361	
自主事業収入	10,760,000	2,609,470	△ 8,150,530	
その他	2,380,000	3,780,313	1,400,313	物販、自販機
計	174,210,000	147,214,941	△ 26,995,059	

（支出） （単位：円）

区分	計 画 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
人件費	52,920,000	44,989,264	△ 7,930,736	社員、アルバイト
光熱水費	54,924,000	37,734,160	△ 17,189,840	
施設設備保守 管理委託費	22,020,000	22,944,355	924,355	保守点検、設備巡回など
清掃管理費	6,960,000	10,551,094	3,591,094	日常・定期清掃、ゴミ収集ほか
警備費	520,000	361,428	△ 158,572	敷地内清掃、樹木管理、緑地管理
植栽・外構管理費	650,000	0	△ 650,000	植栽、外構・清掃管理スタッフ対応
除雪作業費	2,000,000	719,950	△ 1,280,050	
修繕費	160,000	161,169	1,169	
維持管理雑費	1,580,000	1,476,706	△ 103,294	
事務消耗品費	590,000	587,671	△ 2,329	消耗品、事務消耗品
通信運搬費	140,000	681,978	541,978	通信費、運賃代
旅費交通費	50,000	1,256,144	1,206,144	
広告宣伝費	220,000	595,035	375,035	
リース・賃借料	3,140,000	6,358,444	3,218,444	システム、複合機、洗濯乾燥機ほか
保険料	140,000	671,308	531,308	
租税公課	6,040,000	4,745,676	△ 1,294,324	未払い消費税、法人市民税
手数料	30,000	218,373	188,373	
備品費	290,000	2,154,364	1,864,364	
燃料費	50,000	88,839	38,839	
その他運営雑費	15,416,000	8,736,965	△ 6,679,035	本社管理運営経費など
自主事業支出	6,370,000	2,519,409	△ 3,850,591	講師、人件費、備品費用、物販原価
計	174,210,000	147,552,332	△ 26,657,668	

（収支） （単位：円）

区分	計 画 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
収支差引額	0	△ 337,391	△ 337,391	

10 監査の結果

- ・概ね適正に処理されていると認められた。

(3) 出資団体

※貸借対照表及び損益計算書については、出資団体より提出された資料に基づくものである。

【団体名：株式会社

岩城】

- 1 所在地
- 2 設立年月日
- 3 資本金
- 4 出資割合
- 5 事業内容

- 由利本荘市岩城下蛇田字高城2番地1
- 平成26年 4月 1日
- 2,201株、100,000千円（うち市の出資金／1,706株、85,300千円）
- 85.3%
- ・道の駅「岩城」関連施設の管理運営(岩城総合交流ターミナル「ケベック」(売店、レストラン)、岩城温泉「港の湯」、岩城オートキャンプ場・コテージ等)、道の駅「岩城」に係る受託業務(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理)
- ・天鷲村、天鷲城等の観光施設及び遊園地の維持管理並びに同施設の運営業務、飲食店及び売店の経営、観光案内及び旅行斡旋
- ・在宅配食サービス事業、各種イベントの企画立案及び運営管理業務、農産物の加工製造及び販売、地方公共団体の委託による日直業務及び諸届出書を受理する業務、労働者派遣事業
- ・果実酒類の製造販売、農産物の缶詰加工及びジュースの製造販売
- ・上記に付帯または関連する一切の事業

6 決算の状況

貸借対照表

第34期(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	44,861,542	【流動負債】	62,371,813
現 金	2,101,190	買 掛 金	7,289,931
預 金	1,794,895	短 期 借 入 金	15,000,000
売 掛 金	861,972	未 払 金	19,459,512
商 品	3,384,775	未 払 費 用	3,429,504
製 品	5,094,047	未 払 法 人 税 等	204,000
原 材 料	3,856,771	未 払 消 費 税 等	3,487,800
仕 掛 品	23,599,631	前 受 金	210,489
貯 蔵 品	2,486,962	預 り 金	831,273
前 払 費 用	46,205	仮 受 金	12,459,304
未 収 入 金	1,552,896	【固定負債】	7,957,946
立 替 金	82,198	長 期 借 入 金	2,900,000
【固定資産】	8,169,933	預 り 敷 金	900,000
[有形固定資産]	7,490,818	長 期 未 払 金	302,022
建 物	1,213,534	リ ー ス 債 務	3,855,924
建 物 附 属 設 備	5,459,140	負 債 合 計	70,329,759
機 械 装 置	31,537,823		
車 両 運 搬 具	262,500		
工 具 器 具 備 品	19,671,516	純 資 産 の 部	
リ ー ス 資 産	9,932,400	【株主資本】	△ 17,298,284
減 価 償 却 累 計 額	△ 60,586,095	資 本 金	100,000,000
[無形固定資産]	443,280	[利益剰余金]	△ 117,298,284
電 話 加 入 権	443,280	利 益 準 備 金	5,000,000
[投資その他の資産]	235,835	そ の 他 利 益 準 備 金	△ 122,298,284
出 資 金	36,800	固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	235,930
差 入 保 証 金	85,000	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 122,534,214
長 期 前 払 費 用	113,940		
配 当 積 立 金	95	純 資 産 合 計	△ 17,298,284
資 産 合 計	53,031,475	負 債 ・ 純 資 産 合 計	53,031,475

損益計算書

第34期 (平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		
売 上 高		239,912,749
【 売 上 原 価 】		
期 首 棚 卸 高	8,402,869	
仕 入 高	84,365,764	
酒 税	623,800	
当期製品製造原価	15,976,788	
合 計	109,369,221	
期 末 棚 卸 高	△ 9,476,662	
売 上 原 価 合 計		99,892,559
売 上 総 利 益 金 額		140,020,190
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		200,705,933
営 業 損 失 金 額		△ 60,685,743
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	47	
受 取 配 当 金	300	
雑 収 入	44,163,968	
営 業 外 収 益 合 計		44,164,315
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	216,185	
雑 損 失	31,482	
営 業 外 費 用 合 計		247,667
経 常 損 失 金 額		△ 16,769,095
【 特 別 利 益 】		
固 定 資 産 売 却 益		118,181
【 特 別 損 失 】		
固 定 資 産 除 却 損		15,000
税 引 前 当 期 純 損 失		△ 16,665,914
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		204,060
当 期 純 損 失 金 額		△ 16,869,974

7 監査の結果

- ・ 事務は概ね適正に処理されていると認められた。
- ・ 新型コロナウイルスの影響など、厳しい経営環境下で経常損失が発生しており、市との連携強化などにより、なお一層の経営改善を図りたい。

【団体名：株式会社 黄桜の里】

- 1 所在地 由利本荘市東由利老方字畑田28番地
- 2 設立年月日 平成 7年 5月25日
- 3 資本金 3,200株、96,000千円（うち市の出資金／3,000株、90,000千円）
- 4 出資割合 93.8%
- 5 事業内容
 - ・道の駅「東由利」関連施設の管理運営（東由利温泉保養施設黄桜温泉「湯楽里」（温泉、売店）、東由利産地形成促進施設（レストラン）、ファーストフード店等）
 - ・道の駅「東由利」に係る受託業務（駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理）
 - ・上記に関連する一切の事業

6 決算の状況

貸借対照表

第26期（令和 2年 3月31日現在）

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	15,581,014	【流動負債】	10,315,626
現金及び預金	9,866,657	買掛金	1,997,344
売掛金	366,104	未払費用	5,501,482
たな卸資産	5,089,983	未払法人税等	184,000
前払費用	58,332	未払消費税等	2,456,500
未収入金	65,105	預り金	105,400
立替金	114,633	金 券	70,900
仮払金	20,200	【固定負債】	2,754,000
【固定資産】	11,687,206	長期未払金	2,754,000
[有形固定資産]	1,810,532	負債の部合計	13,069,626
建物	28,275	純資産の部	
車両運搬具	1,539,736	【株主資本】	14,198,594
工具、器具及び備品	165,445	資本金	96,000,000
建物附属設備	77,076	資本剰余金	0
[無形固定資産]	76,440	利益剰余金	△ 81,801,406
電話加入権	76,440	その他利益剰余金	△ 81,801,406
[投資その他の資産]	9,800,234	繰越利益剰余金	△ 81,801,406
出資金	115,000	【評価・換算差額等】	0
保険積立金	9,397,584	【新株予約権】	0
長期前払費用	287,650		
【繰延資産】	0	純資産の部合計	14,198,594
資産の部合計	27,268,220	負債及び純資産合計	27,268,220

損益計算書

第26期（平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		
売 上 高	159,070,030	
その他売上高	687,056	
売上値引戻り高	△ 115,514	
売上高合計		159,641,572
【 売上原価 】		
期首たな卸高	4,713,691	
商品仕入高	15,853,865	
材 料 費	37,013,370	
その他仕入れ高	6,838,999	
合 計	64,419,925	
期末たな卸高	3,051,858	
売上原価		61,368,067
売上総利益金額		98,273,505
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計	142,557,522	142,557,522
営業損失		△ 44,284,017
【 営業外収益 】		
受 取 利 息	716	
受 託 料 収 入	29,826,477	
雑 収 入	1,170,615	
営業外収益合計		30,997,808
【 営業外費用 】		
雑 損 失	9,252	
営業外費用合計		9,252
経 常 損 失		△ 13,295,461
【 特別利益 】		
前期損益修正益	499	
特別利益合計		499
【 特別損失 】		
固定資産除却売却損	1	
特別損失合計		1
税引前当期純損失		△ 13,294,963
法人税及び住民税		184,108
当期純損失金額		△ 13,479,071

7 監査の結果

- ・ 事務は概ね適正に処理されていると認められた。
- ・ 新型コロナウイルスの影響など、厳しい経営環境下で経常損失が発生しており、市との連携強化などにより、なお一層の経営改善を図りたい。